

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑫ 公開特許公報(A)

平2-69658

⑤Int. Cl.⁵

G 01 N 31/00

識別記号

GAK T

庁内整理番号

8506-2G

⑬公開 平成2年(1990)3月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 揮発性ルテニウムの測定方法

⑮特 願 昭63-221980

⑯出 願 昭63(1988)9月5日

⑰発 明 者 萩 原 実 東京都千代田区大手町2丁目2番1号 石川島播磨重工業株式会社内

⑱出 願 人 石川島播磨重工業株式会社 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

⑲代 理 人 弁理士 志賀 正武 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

揮発性ルテニウムの測定方法

2. 特許請求の範囲

試料ガスを第1のフィルタで濾過してRuO₃を捕捉し、ついでRuO₃を除去した状態の試料ガスに還元剤を添加してRuO₃をRuO₂に還元した後、該還元ガスを第2のフィルタに送り込んでRuO₂を捕捉し、第2のフィルタで捕捉されたRuO₂量を測定することにより試料ガス中のRuO₃の量を測定することを特徴とする揮発性ルテニウムの測定方法

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は揮発性ルテニウムの測定方法に係わり、特に高放射性廃液を処理した際などに生じるオフガス中のルテニウム量を測定する方法に関する。

〔従来の技術〕

原子力発電所の使用済み核燃料再処理施設等で発生する高放射性廃液中には、核分裂生成物で希少金属である放射性ルテニウムが酸素化合物等の形で含有されているが、この高放射性廃液にガラス固化処理等の処理を施す際に、ルテニウム化合物のうち揮発性を有するRuO₃や、固体状のRuO₂がオフガス中に移行するので、オフガスからのルテニウムの除去処理が施されている。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところが上記オフガス中に含有されるルテニウム化合物のうち、RuO₃は揮発性であるので、固体粉末状のRuO₂のように容易にその量を測定することができなく、オフガス中に含有される揮発性ルテニウムの測定方法の提供が望まれていた。

この発明は上記課題を解決するためになされたもので、揮発性ルテニウムの測定方法を提供することを目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

この発明は、試料ガスを第1のフィルタで濾過してRuO₃を捕捉し、ついでRuO₃を除去した状

態の試料ガスに還元剤を添加して RuO_2 を RuO に還元した後、該還元ガスを第2のフィルタに送り込んで RuO を捕捉し、第2のフィルタで捕捉された RuO 量を測定することにより試料ガス中の RuO_2 の量を測定することを解決手段とした。

[作用]

試料ガス中に含有される RuO_2 は固体粒子状であるので、試料ガスを第1のフィルタで濾過することにより RuO_2 を捕捉する。ついで第1のフィルタで RuO_2 が除去された試料ガスに還元剤を添加し、第1のフィルタで捕捉不可能であった揮発性の RuO_2 をフィルタ捕捉可能な固体粒子状の RuO_2 とし、これを第2のフィルタで捕捉する。第2のフィルタで捕捉された RuO_2 を測定することにより試料ガス中の揮発性ルテニウムの含有量を測定することができる。

[実施例]

以下、この発明を詳しく説明する。

第1図はこの発明のルテニウム化合物の含有量測定方法を実施する際に好適に用いられる装置の

中を流動する試料ガスの流量を測定することにより、試料ガス中のルテニウム化合物の濃度が算出できるようにするものであって、フロア5は母管1内を移送されるオフガス等から試料ガスをサンプリングラインS中に分流するための負圧源となるものである。還元剤添加装置6は第1のフィルタ2で RuO_2 が除去された試料ガスに NO や CO 等の還元剤を添加するための装置である。第1および第2のフィルタ2、3にそれぞれ取り付けられた計測機器7、7は、第1および第2のフィルタ2、3で捕捉された RuO_2 の量を計測するためのものであって、放射性 RuO_2 が放射する β 線、 γ 線を計測することにより、その量が計測可能なガイガー=ミューラー計数管やシンチレーションカウンタなどの放射線量測定装置等からなる。

このようなサンプリングラインSを用いて試料ガス中のルテニウム化合物の含有量を測定するには、以下の各工程による。

① RuO_2 の捕捉。

試料ガス中には、 RuO_2 と RuO との2種のル

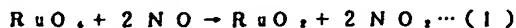
一例を示したものである。第1図中、符号1は高放射性廃液を処理した際に生じたオフガス等を移送する母管である。この母管1内で移送されるオフガスの一部は、母管1から分岐されて設けられたサンプリングラインSに分流され試料ガスとして採取される。サンプリングラインSはルテニウム化合物の含有量の測定を行うためのものであって、第1のフィルタ2および第2のフィルタ3と、流量計4と、フロア5とを試料ガスの流れに対して直列に配し、第1のフィルタ2と第2のフィルタ3との間に還元剤添加装置6を取り付けると共に、上記第1および第2のフィルタ2、3にて捕捉された RuO_2 の量を計測する計測機器7、7がそれぞれ取り付けられてなるものである。

第1のフィルタ2および第2のフィルタ3は共に、試料ガス中に浮遊している微細な塵埃までが捕捉可能ないわゆるHEPAフィルタと呼ばれる高性能フィルタ等からなり、試料ガス中の浮遊する微細な固体粒子状の RuO_2 をも捕捉できるようになっている。流量計4はサンプリングラインS

ルテニウム化合物が含有されているが、 RuO_2 は固体粒子状で浮遊しているのに対し、 RuO は常温でも非常に揮発しやすい性質から、高放射性廃液の処理時に発生するオフガス中に含有されている場合等には通常気体状となっており、試料ガス中の RuO は気体状となっている。したがって試料ガスを第1のフィルタ2で濾過すると、固体粒子状で浮遊している RuO_2 のみを捕捉することができる。

② RuO_2 の RuO への還元。

RuO_2 は還元剤により容易に還元されて RuO に還元される性質を有するので、上記①工程により固体粒子状の RuO_2 が除去された試料ガスに、 NO や CO 等の還元剤を添加して気体状の RuO を固体粒子状の RuO_2 に還元し、 RuO の捕捉が可能にようにする。たとえば還元剤として NO を用いれば、(1)式の如き反応を起こしてフィルタによって捕捉可能な RuO に還元される。



③ RuO から還元された RuO_2 の捕捉。

上記②工程にて揮発性のRuO₂から還元された固体粒子状のRuO₂を上記①工程と全く同様にして捕捉する。

④RuO₂およびRuO₃の含有量計測。

上記①工程にて第1のフィルタ2上に捕捉されたRuO₂の量と、上記②工程を経てRuO₂に還元された後、③工程にて第2のフィルタ3上に捕捉されたRuO₂の量とをそれぞれ計測する。第1および第2のフィルタ2、3に捕捉されたRuO₂は共に放射性であるので、たとえばRuO₂が発生する放射線量を、第1および第2のフィルタ2、3にそれぞれ設けられた計測機器7、7によって計測することにより、第1および第2のフィルタ2、3で捕捉されたRuO₂の量をそれぞれ個別に計測することができる。

⑤試料中のルテニウム化合物の含有量換算

第2のフィルタ3で捕捉されたRuO₂の量は、②工程で用いた還元剤の種類によって、RuO₂の量に変換される必要がある。上述のように還元剤としてNOを用いた場合には、RuO₂還元すると

以上説明したように、この発明の揮発性ルテニウムの測定方法は、試料ガスを第1のフィルタで濾過してRuO₂を捕捉し、ついでRuO₂を除去した状態の試料ガスに還元剤を添加してRuO₂をRuO₂に還元した後、該還元ガスを第2のフィルタに送り込んでRuO₂を捕捉し、第2のフィルタで捕捉されたRuO₂量を測定することにより試料ガス中のRuO₂の量を測定するものであるので、試料ガス中の揮発性ルテニウムの含有量を迅速かつ容易に測定することが可能である。よって、たとえば高放射性廃液の処理等で発生するオフガスのモニタとして用いればルテニウム化合物の含有量の管理が容易となる。

さらにこの発明の揮発性ルテニウムの測定方法にあっては、試料ガス中にRuO₂とRuO₃とを共に含有する場合には、その含有量を別々に測定することができるので、各ルテニウム化合物の含有量に適した除去条件等を設定することができるので、高除去率でルテニウム化合物を除去できる。

4. 図面の簡単な説明

同量のRuO₂となるので、第2のフィルタ3で捕捉されたRuO₂の量をそのままRuO₂の量として換算することができるのは言うまでもない。

⑤試料ガスの回収およびオフガスの処理

上記各工程でRuO₂およびRuO₃が除去され、揮発性ルテニウムの含有量が測定された後の試料ガスは、サンプリングラインSから母管1へ戻されて、母管1内を移送されるオフガスと共に図示しない処理装置内でオフガスとして処理される。

上記のような測定方法によれば、試料ガス中の揮発性ルテニウムの含有量を容易にかつ迅速に測定することができ、高放射性廃液処理の際などに発生するオフガス等のモニタとして用いれば非常に有用である。

さらに試料ガス中に含有されるRuO₂およびRuO₃の量をそれぞれ個別測定することができるので、各ルテニウム化合物の含有量に適した除去条件等を設定することができるので効率良く除去を行うことができる。

[発明の効果]

第1図はこの発明の揮発性ルテニウムの測定方法を実施する際に好適に用いられる装置を示した概略構成図である。

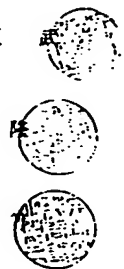
- 2…第1のフィルタ、
- 3…第2のフィルタ、
- 6…還元剤添加装置、
- 7…計測機器。

出願人 石川島播磨重工業株式会社

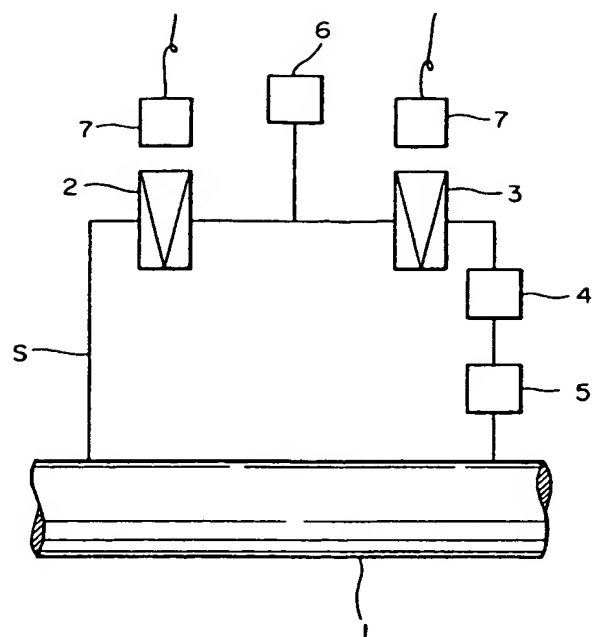
代理人 弁理士 志賀 正

弁理士 渡 辺

弁理士 茂 谷



第 1 図



L2: Entry 1 of 1

File: DWPI

Mar 8, 1990

DERWENT-ACC-NO: 1990-119765

DERWENT-WEEK: 199016

COPYRIGHT 2002 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Volatile ruthenium tetra:oxide measurement - by filtering sample gas, adding reducing agent, filtering and measuring obtd. ruthenium di:oxide, etc.

PRIORITY-DATA: 1988JP-0221980 (September 5, 1988)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 02069658 A	March 8, 1990		000	

INT-CL (IPC): G01N 31/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP02069658A

BASIC-ABSTRACT:

Measurement of volatile RuO₄ comprises filtering sample gas through first filter to capture RuO₂; adding reducing agent to obtd. sample gas to reduce RuO₄ in gas to RuO₂; filtering reduced gas through second filter to capture RuO₂; and measuring RuO₂ to determine RuO₄ in the sample gas. Pref. a sample gas is fed from off-gas pipe line via sampling line to first filter (e.g. HEPA filter). To gas exiting from first filter, is added reducing agent (e.g. NO) from reservoir, and reduced gas is fed to second filter. Two appts. (e.g. Geiger- or scintillation-counter) measure RuO₂ captured by filters. Flowmeter measures flow rate of sample gas.

USE/ADVANTAGE - Method is used for determining RuO₄ in off-gas produced treatment of highly radioactive waste liq. It makes it possible to determine rapidly and easily RuO₄ content in sample gas.

L1: Entry 1 of 1

File: JPAB

Mar 8, 1990

PUB-NO: JP402069658A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02069658 A

TITLE: METHOD FOR MEASURING VOLATILE RUTHENIUM

PUBN-DATE: March 8, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAGIWARA, MINORU

COUNTRY

IS-CL-CURRENT: 436/84

INT-CL (IPC): G01N 31/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To measure the amt. of volatile Ru₄ by filtering a gaseous sample with a 1st filter to capture RuO₂, and reducing the filtered gas, then capturing the RuO₂ with a 2nd filter.

CONSTITUTION: The offgas transferred in a main pipe 1 is partly diverted to a sampling line 5 and is drawn as the gaseous sample. The gaseous sample maintained under a negative pressure by a blower 5 is filtered by the 1st filter 2 by which RuO₂ is captured. A reducing agent is added from a reducing agent adding device 6 to the filtered gas to reduce the RuO₄ in the gaseous sample to RuO₂. The RuO₂ is captured by the 2nd filter 3. The amt. of the RuO₂ captured on the filters 2, 3 is measured by measuring instruments 7, 7 and is converted to the amt. of RuO₄. The gaseous sample after the analysis is returned via a flow meter 4 and the blower to the main pipe 1.